

各賞 詳細

第9回日本産業理学療法研究会学術大会

最優秀演題賞・優秀演題賞

産業理学療法学の発展に資する、学術的に優れた研究演題を表彰します。次代の産業保健理学療法を担う研究の発信を広く奨励し、エビデンスの蓄積を促進することを目的としています。

○ 対象者

1. 本大会の演題登録において、筆頭演者であること。
2. 経験年数・職種は問わない。

○ 選考対象

1. 査読委員会が全演題を対象に選考する。
2. 研究デザインは問わない。ただし、実践報告・症例報告は対象外とする。
3. 優秀実践報告賞・大会奨励賞の受賞演題は、本賞の選考対象から除外する。

○ 評価の視点

- ・ 研究目的の明確性
- ・ 方法論の妥当性
- ・ 科学的根拠に基づく考察
- ・ 産業保健分野への学術的貢献度

優秀実践報告賞

産業現場における理学療法の実践を奨励し、その成果を広く共有していただくことを目的としています。学術研究のみならず、現場での実践知を学会として正当に評価し、産業理学療法の実践的発展を促進します。皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

○ 対象者

1. 本大会の演題登録において、筆頭演者であること。
2. 経験年数・職種は問わない。

○ 選考対象

1. 産業現場における理学療法の実践に関する報告を対象とする。症例報告を含む。

実践報告とは：現場課題の把握・介入プロセス・成果の報告を体系的に記述したもの。症例報告（単一・少数症例を通じた問題意識・評価・介入の経過を記述したもの）を含む。

2. 学術研究（仮説検証・統計解析等を主目的とするもの）は対象外とする。
3. 最優秀演題賞・優秀演題賞の選考対象となった演題は、本賞の選考対象から除外する。

○ 評価の視点

※ 採点基準は別途定め、後日ホームページにて公開します。

- ・ 現場課題の的確な把握
- ・ 解決に向けたプロセスの工夫
- ・ 成果の明確性
- ・ 他の現場への応用可能性

大会奨励賞

産業理学療法に挑戦するすべての発表者の取り組みを奨励し、多様な視点からの発信を促進することを目的としています。発表カテゴリや経験年数を問わず、産業理学療法に関わるすべての演者に関われた賞です。皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

○ 対象者

1. 本大会の演題登録において、筆頭演者であること。
2. 発表カテゴリ・経験年数・職種は問わない。

○ 選考対象

1. 研究デザインは問わない。
2. 最優秀演題賞・優秀演題賞・優秀実践報告賞の受賞演題は、本賞の選考対象から除外する。

○ 評価の視点

※ 採点基準は別途定め、後日ホームページにて公開します。

- ・ 着眼点の独創性
- ・ 問題意識の鋭さ
- ・ 研究・実践の発展可能性

※ 完成度よりも「次につながる萌芽」を重視します。

■ 演題に関するお問い合わせ

〈第9回日本産業理学療法研究会学術大会 学術局〉

演題担当：長野保健医療大学 佐藤剛章

E-mail：sato.takaaki@shitoku.ac.jp

初回公開日：2026年5月25日

最終更新日：2026年5月27日